

2014年 9 月28日 実施

平成26年度（第51回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈プログラミング部門〉
第 2 級 試 験 問 題

注 意 事 項

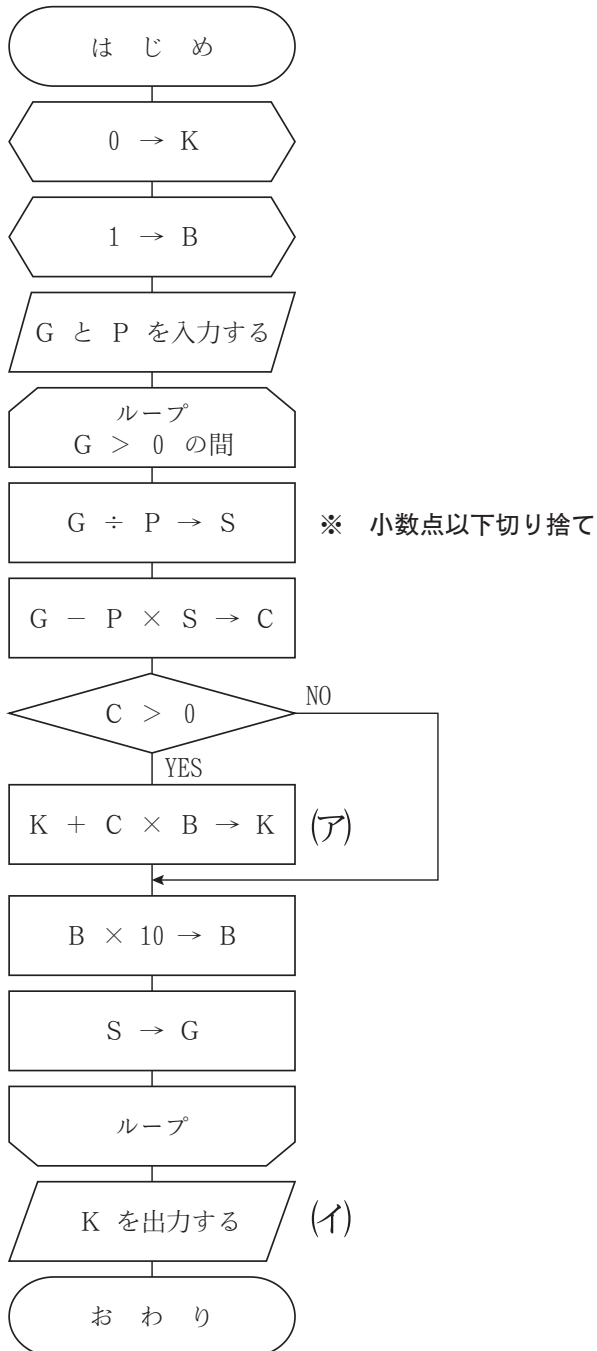
1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は10ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 【5】 【6】 は共通問題です。
5. 【7】 の問題は J a v a ・マクロ言語・COBOLのいずれか一つを選択し，解答用紙の選択言語を ☐ で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【 4 】 流れ図にしたがって処理するとき、(1)～(5)を答えなさい。なお、入力する P の値は 2 以上 9 以下の整数とする。

- (1) G の値が 21, P の値が 2 のとき、(ア)の処理を 2 回目に実行したあとの K の値を答えなさい。
- (2) G の値が 21, P の値が 2 のとき、(イ)で出力される K の値を答えなさい。
- (3) G の値が 143, P の値が 4 のとき、(ア)の処理を何回実行するか答えなさい。
- (4) G の値が 143, P の値が 4 のとき、(イ)で出力される K の値を答えなさい。
- (5) 流れ図の処理について説明した文のうち、正しいものはどれかア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。
 - ア. P の値は C の値を超えることはない。
 - イ. C の値は P の値を超えることはない。
 - ウ. C の値は必ず 0 か 1 になる。

<流れ図>



【 5 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

市民プールの入場者データを読み、週間入場者数一覧をディスプレイに表示する。

入力データ

曜日 (Yobi)	男性 (Dan)	女性 (Jo)
×～×	×××	×××

(第 1 図)

実行結果

(週間入場者数一覧)				
(曜日)	(男性)	(女性)	(計)	(備考)
月曜日	81	115	196	
火曜日	72	88	160	
水曜日	85	116	201	○
}	}	}	}	}
日曜日	503	979	1,482	○
(週間合計)	1,396	2,377	3,773	
(計の最小)			160	
(最小の日の割合(%))			4	

(第 2 図)

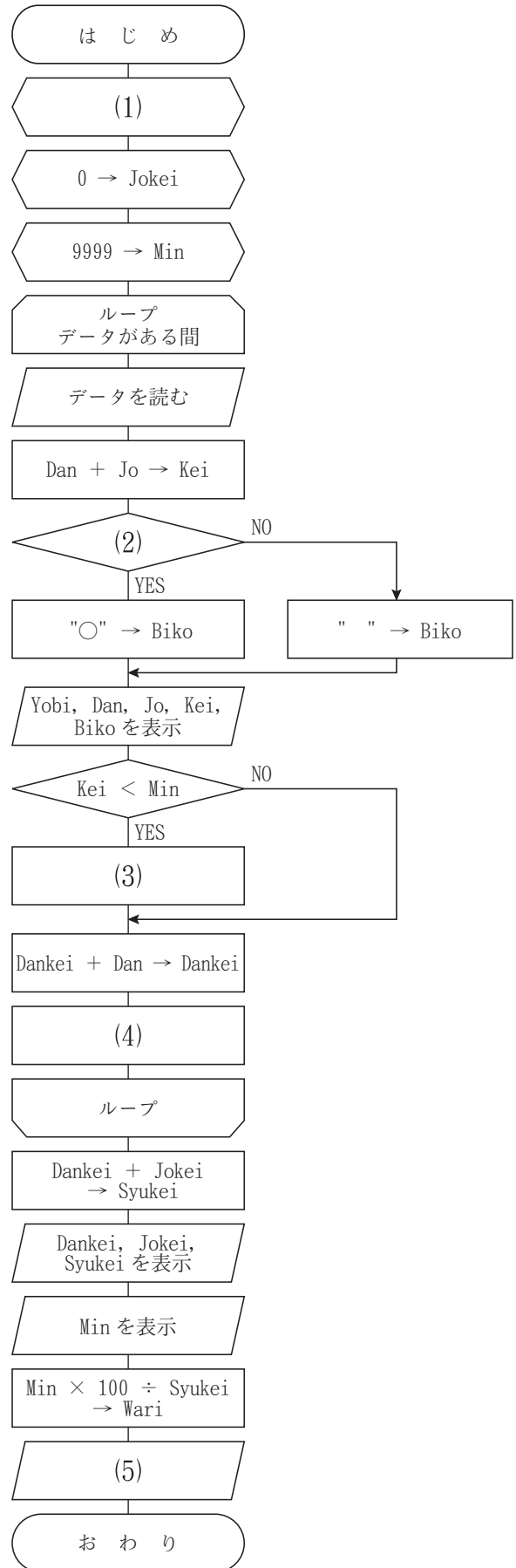
処理条件

- 第 1 図の入力データを読み、男性と女性の計を求め、第 2 図のように表示する。なお、計が200以上の場合、備考に「○」を表示する。
- 入力データが終了したら、第 2 図のように週間合計、計の最小、最小の日の割合(%)を表示する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Min → Kei
イ. 0 → Dankei
ウ. Jokei + Dan → Jokei
エ. Wari を表示
オ. Kei ≥ 200
カ. 0 → Kei
キ. Jokei + Jo → Jokei
ク. Kei ≤ 200
ケ. Kei → Min
コ. Kei を表示

<流れ図>



【 6 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

雑貨店（税込108円均一）の売上データを読み、店舗別に売上数を集計し、店舗別売上集計表をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hiduke)	レシートNo (Rno)	店舗コード (Tcode)	数量 (Suryo)
××	××××××	×××	××

(第1図)

実行結果

(店舗コードエラー) レシートNo: 170221 店舗コード: A05 レシートNo: 192216 店舗コード: C07			
(店舗別売上集計表)			
(店舗名)	(売上金額)	(顧客単価)	(判定)
秋葉原	258,984	409	*
新宿	299,808	293	
浅草橋	214,380	357	*
(売上金額合計)	3,561,624		

(第2図)

処理条件

1. 配列 Tcd に店舗コード、配列 Tnam に店舗名を記憶する。
なお、Tcd(11) はエラー検出用に使用する。また、各配列は添字で対応している。

配列

Tcd	(0)	(1)	(2)	～	(10)	(11)
		A02	A03	～	C06	
Tnam	(0)	(1)	(2)	～	(10)	
		秋葉原	新宿	～	浅草橋	

2. 第1図のデータを読み、次の処理を行う。
 - ・ 店舗コードを Tcd(11) に記憶する。
 - ・ 店舗コードをもとに配列 Tcd を探索し、配列 Su に数量を、配列 Ken に件数を集計する。なお、該当する店舗コードが Tcd(11) で見つかった場合は、店舗コードエラーとして第2図のように表示する。また、Su(0)、Ken(0) は数量と件数の合計用に利用する。
 - ・ 配列 Su、Ken は、配列 Tcd、Tnam の各配列と添字で対応している。

配列

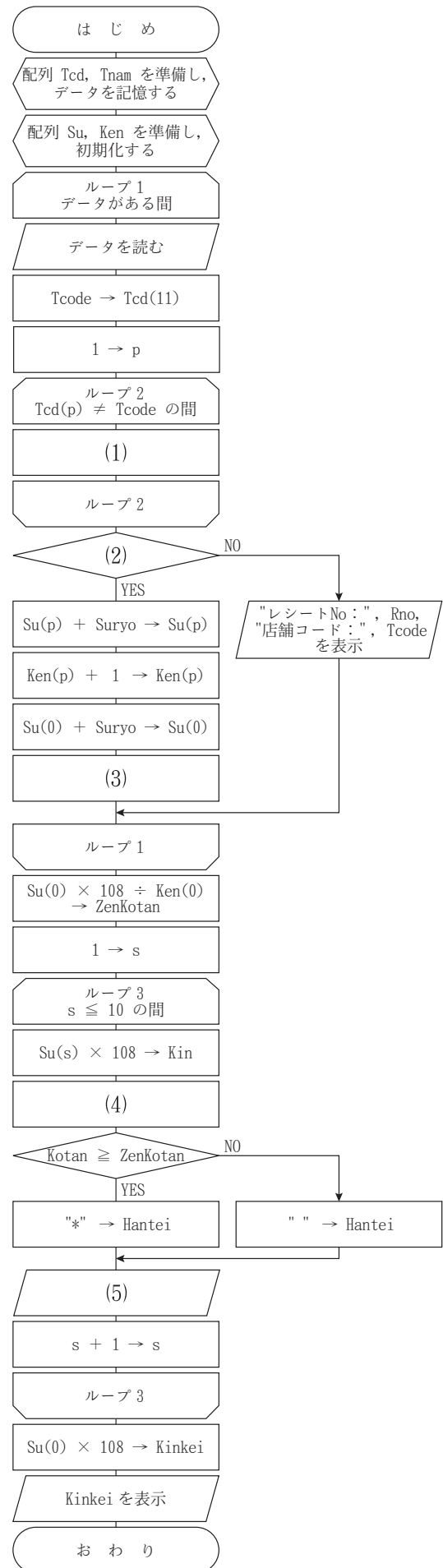
Su	(0)	(1)	(2)	～	(10)
				～	
(数量合計)					
Ken	(0)	(1)	(2)	～	(10)
				～	
(件数合計)					

3. 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - ・ 全店舗の顧客単価を次の計算式で求める。
全店舗の顧客単価 = 数量合計 × 108 ÷ 件数合計
 - ・ 各店舗の売上金額と顧客単価を次の計算式で求める。
売上金額 = 数量 × 108
顧客単価 = 売上金額 ÷ 件数
 - ・ 店舗名から判定までを第2図のように表示する。なお、各店舗の顧客単価が全店舗の顧客単価以上の場合、判定に「*」を表示する。
 - ・ 最後に、売上金額合計を第2図のように表示する。

解答群

- ア. $Kin \div Ken(s) \rightarrow Kotan$
 イ. $Ken(0) + Suryo \rightarrow Ken(0)$
 ウ. $p \leq 10$
 エ. $1 \rightarrow p$
 オ. $Kin \div Ken(0) \rightarrow Kotan$
 カ. $Ken(0) + 1 \rightarrow Ken(0)$
 キ. Tcd(s), Kin, Kotan, Hantei を表示
 ク. $p + 1 \rightarrow p$
 ケ. $p > 10$
 コ. Tnam(s), Kin, Kotan, Hantei を表示

<流れ図>



【7】 次の各問いに答えなさい。

問 1. プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(2)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

ある会社の部署対抗ボウリング大会のデータを入力し、集計した結果をディスプレイに表示する。

入力データ

部署コード	スコア
×	×××

(第 1 図)

実行結果

部署コードを入力 =>1
スコアを入力 =>80
部署コードを入力 =>2
スコアを入力 =>120
部署コードを入力 =>1
スコアを入力 =>203
部署コードを入力 =>2
スコアを入力 =>198
}
部署コードを入力 =>2
スコアを入力 =>108
部署コードを入力 =>2
スコアを入力 =>125
部署コードを入力 =>-1
<集計結果>
総務部 営業部
[合計スコア] 1,100 1,083
[勝敗判定] 総務部チームの勝利!
[個人最高スコア] 203

(第 2 図)

処理条件

1. キーボードから第 1 図の部署コードとスコアを入力する。なお、部署コードは 1 が総務部、2 が営業部である。
2. 部署ごとに合計スコアを集計する。
3. キーボードから部署コードに -1 が入力されたら、次の処理を行う。
 - ・ 第 2 図のように部署ごとの合計スコアを表示する。
 - ・ スコアの大きい部署を勝利チームとして表示する。なお、合計スコアが同じ場合は、「引き分け」を表示する。
 - ・ 最後に、個人最高スコアを表示して処理を終了する。なお、個人最高スコアが複数ある場合は、先に入力したデータを優先する。

< J a v a プログラム >

```
//クラスBowling
import java.util.Scanner;

public class Bowling {
    public static void main(String[] args) {
        int code;
        int score;
        int somu = 0;
        int eigyo = 0;
        int saiko = 0;
        Scanner sc = new Scanner(System.in);
        System.out.print("部署コードを入力 =>");
        code = sc.nextInt();
        while(code != -1) {
            System.out.print("スコアを入力 =>");
            score = sc.nextInt();
            if(code == 1) {
                (1);
            } else {
                eigyo = eigyo + score;
            }
            if(score > saiko) {
                saiko = score;
            }
            System.out.print("部署コードを入力 =>");
            code = sc.nextInt();
        }
        sc.close();
        System.out.println();
        System.out.println("<集計結果>");
        System.out.println("                総務部    営業部");
        System.out.printf("[合計スコア]    %4d    %4d\n", somu, eigyo);
        System.out.print("[勝敗判定]    ");
        if(somu > eigyo) {
            System.out.println("総務部チームの勝利!");
        } else if(somu < eigyo) {
            System.out.println("営業部チームの勝利!");
        } else {
            System.out.println("引き分け");
        }
        System.out.printf("[個人最高スコア]    %3d", (2));
    }
}
```

問 2. プログラムの説明を読んで、プログラムの(3)～(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

自動車メーカーの走行データを読み、車種別燃費調査結果をディスプレイに表示する。

入力データ

走行データ (ファイル名: drive.csv)

日	分類コード	車種コード	走行距離	消費量
××	×	××	×××	××

(第 1 図)

実行結果

車種別燃費調査結果				
車種名	走行距離	消費量	燃費	備考
フィット	2,802	150	18	
フリーダム	2,787	160	17	
アコードيون	2,367	161	14	△
ヴェゼルズ	2,669	177	15	
スローリー	2,611	147	17	
フィットHV	2,879	131	21	◎
フリーダムHV	2,770	160	17	
ヴェゼルズHV	2,661	162	16	
KBOX	2,523	128	19	
KWGN	2,605	119	21	◎
ガソリン車	の平均燃費は		16	
ハイブリッド車	の平均燃費は		18	
軽自動車	の平均燃費は		20	

(第 2 図)

処理条件

- 第 1 図の分類コードは、1 がガソリン車、2 がハイブリッド車、3 が軽自動車である。
- 第 1 図の車種コードは、1 ～ 10 であり、配列 syasyuMei と添字で対応している。

配列

syasyuMei	(0)	(1)	～	(10)
		フィット	～	KWGN

- 第 1 図の走行データを読み、次の処理を行う。
 - 分類コードごとに、走行距離と消費量を集計する。
 - 配列 kyoriSyukei に走行距離を、配列 syohiSyukei に消費量を集計する。なお、各配列は配列 syasyuMei と添字で対応している。

配列

kyoriSyukei	(0)	(1)	～	(10)
			～	
syohiSyukei	(0)	(1)	～	(10)
			～	

- データを読み終えたあと、燃費を求めて第 2 図のように表示する。なお、備考は、燃費が 20 以上の場合「◎」を、15 未満の場合「△」を表示する。
- 最後に、分類ごとの平均燃費を次の計算式で求め、第 2 図のように表示して処理を終了する。

平均燃費 = 走行距離合計 ÷ 消費量合計

(注) Integer.parseInt(文字列型)

文字列型のデータを数値型 (整数) に変換する。

<Java プログラム>

//クラスBunrui

```
public class Bunrui {
    public String mei;
    public int kyoriKei = 0;
    public int syohiKei = 0;
    public int heikin;
    public Bunrui(String mei) {
        this.mei = mei;
    }
    public void syukei(int kyori, int syohi) {
        kyoriKei = kyoriKei + kyori;
        syohiKei = syohiKei + syohi;
    }
    public void keisan() {
        heikin = (3);
    }
}
```

//クラスNenpiSyukei

```
import java.io.BufferedReader;
import java.io.FileReader;
import java.io.IOException;

public class NenpiSyukei {
    public static void main(String[] args) throws IOException {
        String[] syasyuMei = { "", "フィット", " ", "KWGN" };
        int[] kyoriSyukei = { 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0 };
        int[] syohiSyukei = { 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0 };
        Bunrui bunG = new Bunrui("ガソリン車");
        Bunrui bunH = new Bunrui("ハイブリッド車");
        Bunrui bunK = new Bunrui("軽自動車");
        BufferedReader fileIn = new BufferedReader(new FileReader("drive.csv"));
        String line;
        while((line = fileIn.readLine()) != null) {
            String[] str = line.split(",");
            int hi = Integer.parseInt(str[0]);
            int bunruiCode = Integer.parseInt(str[1]);
            int syasyuCode = Integer.parseInt(str[2]);
            int kyori = Integer.parseInt(str[3]);
            int syohi = Integer.parseInt(str[4]);
            if(bunruiCode == 1) {
                bunG.syukei(kyori, syohi);
            } else if(bunruiCode == 2) {
                bunH.syukei(kyori, syohi);
            } else {
                bunK.syukei(kyori, syohi);
            }
            kyoriSyukei[syasyuCode] = kyoriSyukei[syasyuCode] + (4);
            syohiSyukei[syasyuCode] = syohiSyukei[syasyuCode] + syohi;
        }
        fileIn.close();
        System.out.println("車種別燃費調査結果");
        System.out.println("車種名 走行距離 消費量 燃費 備考");
        for(int i = 1; i <= 10; i++) {
            int nenpi = kyoriSyukei[i] / syohiSyukei[i];
            String biko;
            if(nenpi >= 20) {
                biko = "◎";
            } else if((5)) {
                biko = "△";
            } else {
                biko = " ";
            }
            System.out.printf("%-7s %-4d %-3d %-2d %-1s\n",
                syasyuMei[i], kyoriSyukei[i], syohiSyukei[i], nenpi, biko);
        }
        bunG.keisan();
        System.out.printf("%-7s の平均燃費は %-2d\n", bunG.mei, bunG.heikin);
        bunH.keisan();
        System.out.printf("%-7s の平均燃費は %-2d\n", bunH.mei, bunH.heikin);
        bunK.keisan();
        System.out.printf("%-7s の平均燃費は %-2d", bunK.mei, bunK.heikin);
    }
}
```

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(5)を答えなさい。

＜プログラムの説明＞

処理内容

和太鼓コンテストの審査データを読み、審査結果を表示する。また、団体コードを入力し、分析結果を表示する。

入力データ

審査データ（ファイル名：shinsa.csv）

審査区分	年代区分	団体コード A	団体コード B
×	×	×	×

（第1図）

ユーザーフォーム・実行結果

審査結果

団体コード	団体名	特別審査員点	一般客点	点数合計
1	チーム三宅	50	360	410
2	いなり太鼓	125	730	855
3	ドラム太平洋	75	935	1,010
...	...	...	...	...
20	八幡大太鼓	0	225	225

(TextBox1)

一般客点の内訳

団体コード入力欄

3

(TextBox2)

分析

クリア

終了

団体名

ドラム太平洋

(Label11)

子ども点数

395◎

(Label12)

大人点数

540

(Label13)

（第2図）

処理条件

- 第1図の審査データには審査区分、年代区分、団体コードA、団体コードBが記録されている。
 - 審査員は特別審査員と一般客であり、審査区分は0（特別審査員）、1（一般客）である。
 - 年代区分は一般客の年代であり、0（子ども）、1（大人）である。なお、審査区分が0の場合は0が記録されている。
 - 審査員は2つの団体に投票でき、団体コードAは1位、団体コードBは2位の団体コードが記録されている。なお、団体コードは1～20までの20種類である。
- ユーザーフォーム初期化時に次の処理を行う。
 - 配列 Dmei に団体名を記憶する。なお、Dmei は団体コードと添字で対応している。

配列

Dmei	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)
		チーム三宅	いなり太鼓	～	響	八幡大太鼓

- 第1図の審査データを読み、審査区分が0の場合、団体コードAの団体に50点、団体コードBの団体に25点を配列 Tok にそれぞれ集計する。なお、配列 Dmei と Tok は添字で対応している。
- 審査区分が1の場合、団体コードAの団体に10点、団体コードBの団体に5点を配列 Ipn にそれぞれ集計する。なお、年代区分が0の場合 Ipn(1)～(20)に、年代区分が1の場合 Ipn(21)～(40)に集計する。

配列

Tok	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)
				～		

Ipn	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)	(21)	(22)	～	(39)	(40)
				～					～		

[子ども点数][子ども点数] ～ [子ども点数][子ども点数] [大人点数][大人点数] ～ [大人点数][大人点数]
 [団体コード1][団体コード2] [団体コード19][団体コード20] [団体コード1][団体コード2] [団体コード19][団体コード20]

- データを読み終えたあと、子ども点数の最高点と大人点数の最高点を求める。
 - 子ども点数と大人点数から一般客点を求め、特別審査員点と一般客点から点数合計を求める。
 - 団体コード、団体名、特別審査員点、一般客点、点数合計を TextBox1 に表示する。
- 第2図のように、分析したい団体コードを TextBox2 に入力し、分析ボタンをクリックすると次の処理を行う。
 - 団体名を Label11 に、子ども点数を Label12 に、大人点数を Label13 に表示する。なお、それぞれの点数が最高点の場合には、「◎」を Label12、Label13 にあわせて表示する。

< マクロ言語プログラム >

```

Option Explicit
Dim Dmei(20) As String, Ipn(40) As Long, Ksaiko As Long, Osaiko As Long

Private Sub UserForm_Initialize()
    Dim i As Long, Tok(20) As Long, Skubun As Long, Nkubun As Long, DcodA As Long, DcodB As Long, IpnKei As Long, TensuKei As Long
    Dmei(1) = "チーム三宅  ": Dmei(2) = "いなり太鼓  ": ~ Dmei(19) = "響                ": Dmei(20) = "八幡大太鼓  "
    For i = 1 To 20
        Tok(i) = 0
    Next i
    For i = 1 To 40
        Ipn(i) = 0
    Next i
    Ksaiko = 0
    Osaiko = 0
    TextBox1.Text = ""
    Call Syokika
    Open ThisWorkbook.Path & "Yshinsa.csv" For Input As #1
    Do While Not EOF(1)
        Input #1, Skubun, Nkubun, DcodA, DcodB
        If  Then
            Tok(DcodA) = Tok(DcodA) + 50
            Tok(DcodB) = Tok(DcodB) + 25
        Else
            DcodA = DcodA + Nkubun * 20
            DcodB = DcodB + Nkubun * 20
            Ipn(DcodA) = 
            Ipn(DcodB) = Ipn(DcodB) + 5
        End If
    Loop
    Close #1
    For 
        If Ipn(i) > Ksaiko Then
            Ksaiko = Ipn(i)
        End If
        If Ipn(i + 20) > Osaiko Then
            Osaiko = Ipn(i + 20)
        End If
        IpnKei = Ipn(i) + Ipn(i + 20)
        TensuKei =  + IpnKei
        TextBox1.Text = TextBox1.Text & "          " & Format(i, "#0") & "          " & Dmei(i) & "          " & Format(Tok(i), "#,##0") & _
            "          " & Format(IpnKei, "#,##0") & "          " & Format(TensuKei, "#,##0") & Chr(13) & Chr(10)
    Next i
End Sub

Private Sub 分析_Click()
    Dim m As Long
    m = Val(TextBox2.Text)
    Label1.Caption = Dmei(m)
    Label2.Caption = Format(Ipn(m), "#,##0")
    Label3.Caption = Format(Ipn(m + 20), "#,##0")
    If Ipn(m) =  Then
        Label2.Caption = Label2.Caption & "◎"
    End If
    If Ipn(m + 20) = Osaiko Then
        Label3.Caption = Label3.Caption & "◎"
    End If
End Sub

Private Sub クリア_Click()
    Call Syokika
End Sub

Private Sub 終了_Click()
    End
End Sub

Private Sub Syokika()
    TextBox2.Text = "": Label1.Caption = "": Label2.Caption = "": Label3.Caption = ""
End Sub

```

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

修学旅行希望ファイルを読み、旅行先希望調査結果を印字する。

入力データ

修学旅行希望ファイル（ファイル名：KIBO-F、レコード名：KIBO-R）

生徒番号 (SBAN)	旅行先希望コード (KIBO)
××××	×××

(第1図)

実行結果

(ファイル名：PRINT-F、レコード名：PRINT-R)

(旅行先希望調査結果)				
(大分類別合計)				
(北海道・東北)	(関東・甲信越)	(中部・近畿)	(中国・四国)	(九州・沖縄)
76	51	63	53	89
(小分類別合計)				
(大分類)	(小分類)	(人数)	(備考)	
北海道・東北	道北・道東	9		
	道央・道南	26	○	
	函館・津軽	15		
	北東北	10		
	南東北	16		
九州・沖縄	北九州	22	○	
	長崎周遊	14		
	南九州	10		
	奄美群島	8		
	沖縄諸島	35	○	
	(合計人数)	332		
	(最高人数)	35		

(第2図)

処理条件

- 第1図の旅行先希望コードは、次の例のように構成されている。なお、大分類コードは1～5、小分類コードは1～25で、各大分類とも小分類は5つずつであり、小分類コードに重複はない。

例 4 1 6 → 4 1 6
大分類コード 小分類コード

- 次のように、テーブル DNAM-T には大分類、テーブル SNAM-T には小分類がそれぞれ記憶されている。なお、DNAM-T の添字は大分類コード、SNAM-T の添字は小分類コードとそれぞれ対応している。

テーブル DNAM-T

DNAM	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	北海道・東北	関東・甲信越	中部・近畿	中国・四国	九州・沖縄

テーブル SNAM-T

SNAM	(1)	(2)	～	(24)	(25)
	道北・道東	道央・道南	～	奄美群島	沖縄諸島

- 第1図のファイルを読み、次の処理を行う。
 - 旅行先希望コードをもとに、大分類ごとの人数をテーブル DNIN-T に、小分類ごとの人数をテーブル SNIN-T にそれぞれ集計する。なお、テーブル DNAM-T と DNIN-T、テーブル SNAM-T と SNIN-T はそれぞれ添字で対応している。

テーブル DNIN-T

DNIN	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

テーブル SNIN-T

SNIN	(1)	(2)	～	(24)	(25)
			～		

- ファイルを読み終えたあと、次の処理を行う。
 - 第2図のように大分類ごとの人数を印字する。
 - 大分類から備考までを印字する。なお、小分類ごとの人数が20人を超える場合、備考に「○」を印字する。
 - 合計人数と小分類の最高人数を印字する。

<COBOL プログラム>

WORKING-STORAGE SECTION.

```

    )
01  DAI          PIC 9(01).
01  SYO          PIC 9(02).
01  P            PIC 9(01).
01  GNIN         PIC 9(03).
01  S            PIC 9(02).
01  SAGYO        PIC 9(01).
01  AMARI        PIC 9(01).
01  SAIKO        PIC 9(03).
    )
01  MEISAI1.
    02 MEI-R OCCURS 5 TIMES.
        03          PIC X(12).
        03 M-DNIN PIC ZZ9.
01  MEISAI2.
    02          PIC X(02) VALUE SPACE.
    02 M-DNAM   PIC X(12).
    02          PIC X(04) VALUE SPACE.
    02 M-SNAM   PIC X(12).
    02          PIC X(09) VALUE SPACE.
    02 M-SNIN   PIC Z9.
    02          PIC X(05) VALUE SPACE.
    02 M-BIKO   PIC X(02).
    )

```

PROCEDURE DIVISION.

```

P1. OPEN INPUT KIBO-F OUTPUT PRINT-F
    INITIALIZE E-FLG DNIN-T SNIN-T GNIN SAIKO MEISAI1
    PERFORM UNTIL E-FLG = 9
        READ KIBO-F
        AT END
            MOVE 9 TO E-FLG
        NOT AT END
            COMPUTE DAI =  (1)
            COMPUTE DNIN(DAI) = DNIN(DAI) + 1
            COMPUTE SYO = KIBO - DAI * 100
            COMPUTE SNIN(SYO) = SNIN(SYO) + 1
        END-READ
    END-PERFORM
    PERFORM VARYING P FROM 1 BY 1 UNTIL P > 5
        MOVE DNIN(P) TO M-DNIN(P)
        COMPUTE GNIN =  (2)
    END-PERFORM
    WRITE PRINT-R FROM MEISAI1 AFTER 1
     (3)
    PERFORM VARYING S FROM 1 BY 1 UNTIL S > 25
        COMPUTE SAGYO = S / 5
        COMPUTE AMARI = S - SAGYO * 5
        IF AMARI = 1
            THEN
                MOVE DNAM(P) TO M-DNAM
                COMPUTE P = P + 1
            ELSE
                MOVE SPACE TO M-DNAM
        END-IF
        MOVE SNAM(S) TO M-SNAM
        MOVE SNIN(S) TO M-SNIN
        IF  (4)
            THEN
                MOVE "○" TO M-BIKO
            ELSE
                MOVE " " TO M-BIKO
        END-IF
        WRITE PRINT-R FROM MEISAI2 AFTER 1
        IF SNIN(S) > SAIKO
            THEN
                MOVE SNIN(S) TO SAIKO
        END-IF
    END-PERFORM
    MOVE GNIN TO G-NIN
    WRITE PRINT-R FROM GOKEI-R AFTER 1
    MOVE  (5) TO S-SAIKO
    WRITE PRINT-R FROM SAIKO-R AFTER 1
    CLOSE KIBO-F PRINT-F
    STOP RUN.

```

(平成26年 9 月28日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成26年度（第51回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

小 計

【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		回		

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小 計

.....〔J a v a〕・〔マクロ言語〕・〔COBOL〕.....

【7】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		
		J a v a	マクロ言語	COBOL

小 計

合 計

選択言語を で囲むこと

(平成26年 9 月28日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成26年度（第51回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ウ	ケ	オ	ア	ク	

【2】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	キ	カ	イ	エ	コ	

【3】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	イ	ア	ウ	イ	ア	

小 計
30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	101	10101	3 回	2033	イ	

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	イ	オ	ケ	キ	エ	

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	ク	ウ	カ	ア	コ	

小 計
45

.....【Java】・【マクロ言語】・【COBOL】.....

【Java】（注）＝，演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	s o m u = s o m u + s c o r e	
	(2)	s a i k o	
	(3)	k y o r i K e i / s y o h i K e i	
	(4)	k y o r i	
	(5)	n e n p i < 1 5	

【マクロ言語】（注）大文字，小文字および＝，演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	S k u b u n = 0	
	(2)	I p n (D c o d A) + 1 0	
	(3)	i = 1 T o 2 0	
	(4)	T o k (i)	
	(5)	K s a i k o	

【COBOL】

【7】	(1)	K I B O / 1 0 0	
	(2)	G N I N + D N I N (P)	
	(3)	M O V E 1 T O P	
	(4)	S N I N (S) > 2 0	
	(5)	S A I K O	

各5点 計25点

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		
		J a v a	マクロ言語	COBOL

小 計
25

合 計
100

選択言語を ☐ で囲むこと